

2022年3月期 決算説明資料



2022年5月31日
ニチレキ株式会社
(東証プライム 証券コード5011)

「道」創りを通して社会に貢献する
「道」創りのリーディングカンパニー

「種を播け」



「種を播け」

よい種を播いて歩こう
これが我が社のモットーです
たとえ、どんな旱魃がきても
枯れないような強い種をまき
汗を流して肥料をやろう
必ず立派な実がみのる
たとえ、自分がとらなくても
私はこう思っています
種まきをしないで
肥料をやらなくて
誰も果実ばかりねらっているのは
本当の繁栄はこない
私はそう思います

池田 英一（当社創業者）

ニチレキグループ企業理念

基本理念(種播き精神)

『種を播き、水をやり、花を咲かせて実らせる』

たゆみない努力の積み重ねによって絶えず新しい仕事を創造していきます。

経営理念

ニチレキグループは、「道」創りを通して社会に貢献するため、

- ①優れた機能とコストを満足する道路舗装材料ならびに工法の提供
- ②国民の共有資産である「道」をいつも見守る高度なコンサルティング
- ③顧客から信頼される施工技術

これらを完全に一体化し、株主をはじめ幅広い顧客の皆様から信頼される「道」創りになくてはならない収益性に優れた企業グループであり続けるとともに、社員一人ひとりが能力を発揮でき、働きがいのあるグループであることを経営理念とします。

目次

- I . 会社概要
- II . 2022年3月期 決算概要
- III . 2023年3月期 業績予想

I . 会社概要

会社概要



名称	ニチレキ株式会社 NICHIREKI CO.,LTD.
本社所在地	東京都千代田区九段北四丁目3番29号
創業	1943年10月（設立 1949年9月）
資本金	2,919百万円
代表者	代表取締役社長 小幡 学
従業員数	958名（連結、2022年3月31日現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ アスファルト応用加工製品の製造・販売・ 建築・土木用資材の製造加工・販売・ 道路舗装工事・防水工事・上下水道工事、及びその他の土木工事の請負、これに関する調査・設計・監理 他

グループ沿革



1943年	池田英一がアスファルトを用いた建築防水工事を行う日本瀝青化学工業所を興す
1946年	舗装工事に着手
1949年	会社設立
1950年	東京都荒川区に東京工場・研究室を建設、アスファルト乳剤の製造を開始
1954年	分割合併等により日瀝化学工業株式会社に社名変更
1961年	国産初のカチオン系アスファルト乳剤「カチオゾール」が棚橋発明賞を受賞
1968年	東京都千代田区九段に本社ビル新築(現在に至る)
1974年	東証と大証の両市場第一部銘柄として上場
1977年	栃木県の小山工場内に技術研究所を開設
1994年	ニチレキ株式会社に社名変更
2002年	中国・北京市に特殊舗装材料の製造・販売を行う日中合弁会社 北京路新大成景観舗装有限公司を設立
2007年	初のM&Aを実施、大分県大分市の朝日工業(株)を完全子会社化
2010年	中国・上海市に子会社 日瀝(上海)商貿有限公司を設立
2014年	連結子会社を完全子会社化
2017年～2019年	M&Aを実施、ラインファルト工業(株)、伸和化工(株)、ヒートロック工業(株)を完全子会社化
2020年	つくばみらい市に環境配慮型の生産・物流基地(つくばビッグシップ)を建設するための大規模な土地を取得

事業所・グループ会社 (2022年4月1日現在)

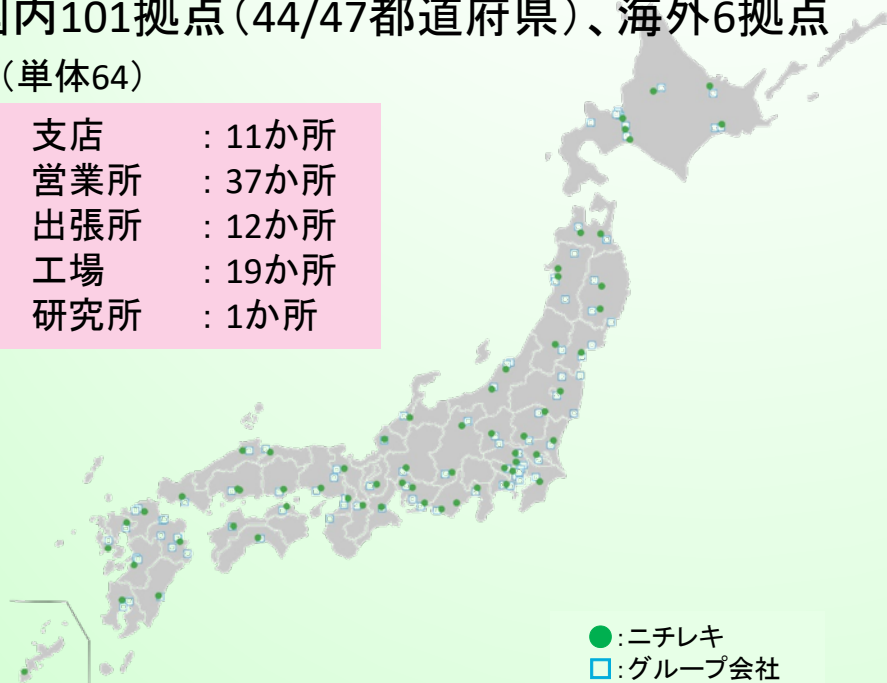


◆事業所

国内101拠点(44/47都道府県)、海外6拠点

(単体64)

支店	: 11か所
営業所	: 37か所
出張所	: 12か所
工場	: 19か所
研究所	: 1か所



◆グループ会社(連結子会社)

北海道ニチレキ工事株式会社
東北ニチレキ工事株式会社
日歴道路株式会社
日レキ特殊工事株式会社
中部ニチレキ工事株式会社
近畿ニチレキ工事株式会社
中国ニチレキ工事株式会社
四国ニチレキ工事株式会社
朝日工業テクノス株式会社(4月1日付 社名変更)
九州ニチレキ工事株式会社
ラインファルト工業株式会社
ヒートロック工業株式会社

など33社

事業概要

主として道路舗装に関する製品、技術、工事等を幅広く提供する事業を展開

●アスファルト応用加工製品事業

アスファルト乳剤、改質アスファルト、橋梁床版防水材料、路面補修材、クラック補修材、景観舗装材料、工業用製品などのアスファルト応用加工製品の製造・販売、および建築・土木用資材の製造加工・販売

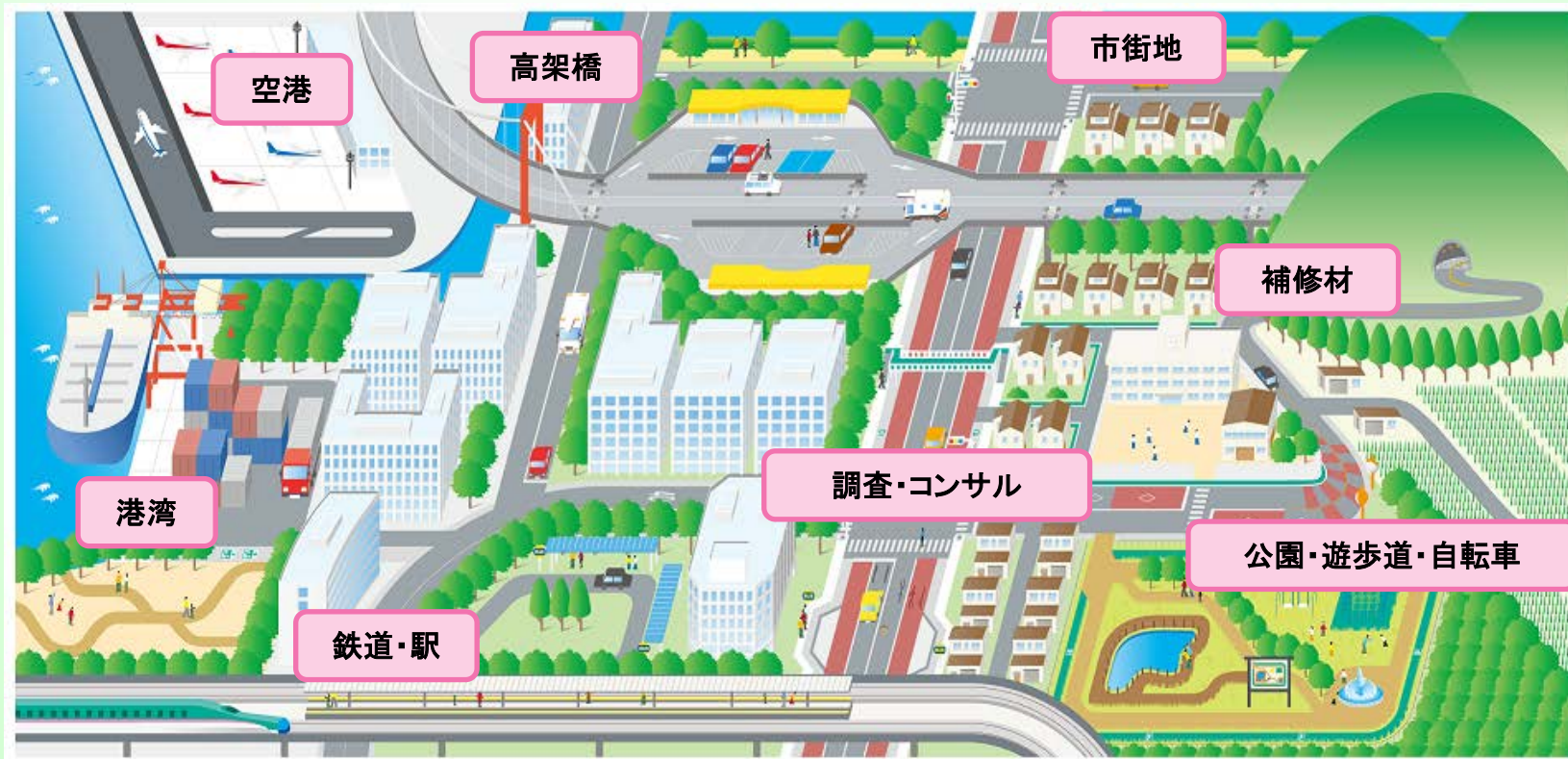


●道路舗装事業

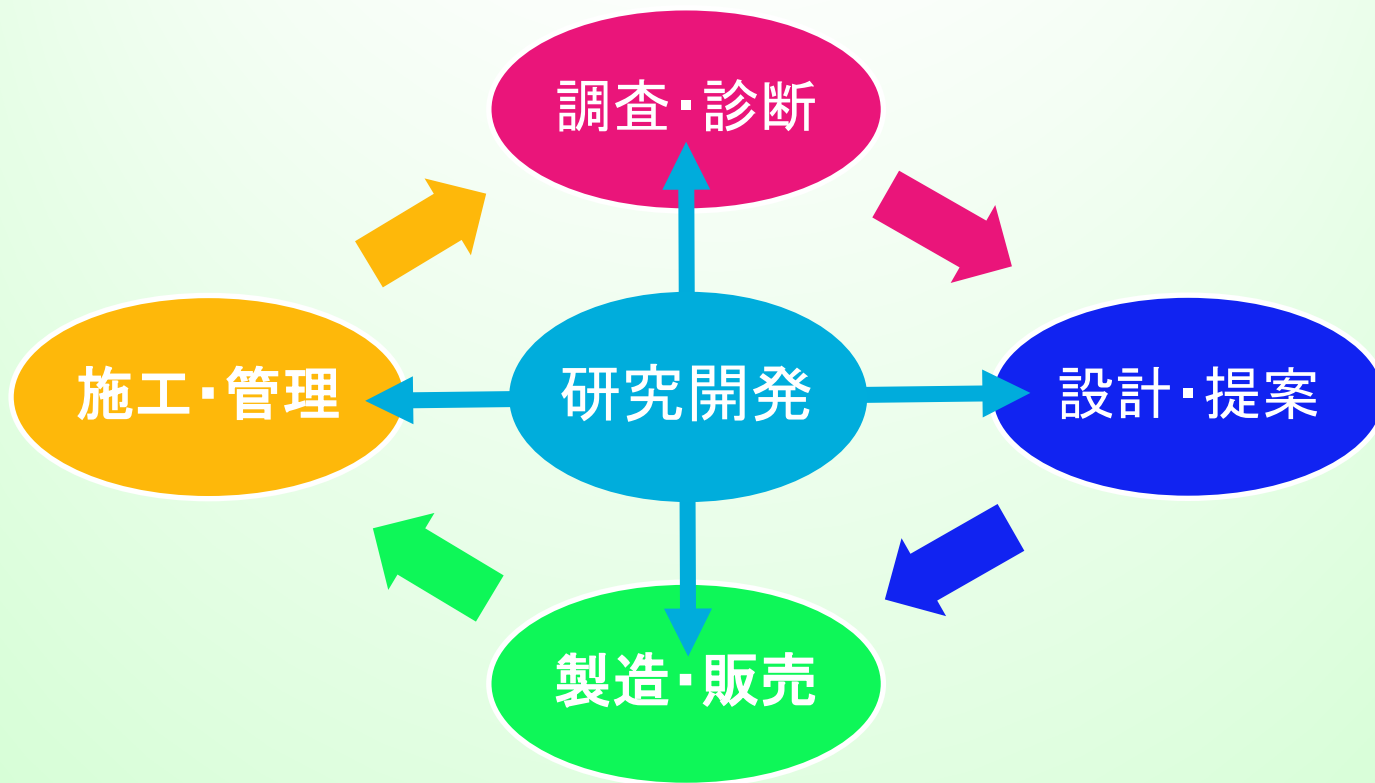
道路舗装工事、橋梁床版防水工事、上下水道工事ならびにその他の土木工事の請負、およびこれらに関する調査・診断、設計、監理



事業領域

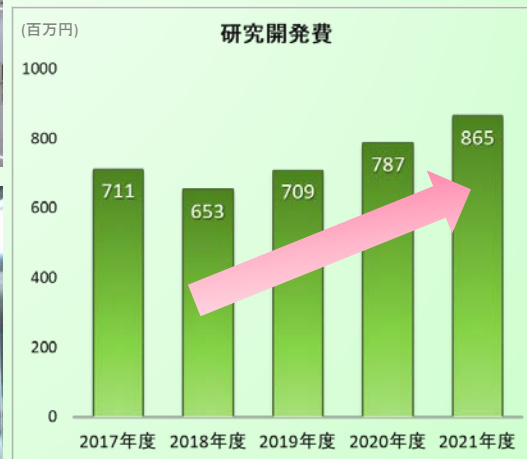


ビジネスモデルにおける強み



研究開発の強み

- ◆ ニチレキ社員の約1割(約40名)が所属し、営業利益(連結)の約1割を研究開発に投入
- ◆ 舗装における性能評価試験機類を配備、道路の長寿命化、大規模更新などの社会インフラのメンテナンス時代に対応した環境配慮型の製品・工法の研究開発を推進



Ⅱ . 2022年3月期 決算概要

2022年3月期の事業環境



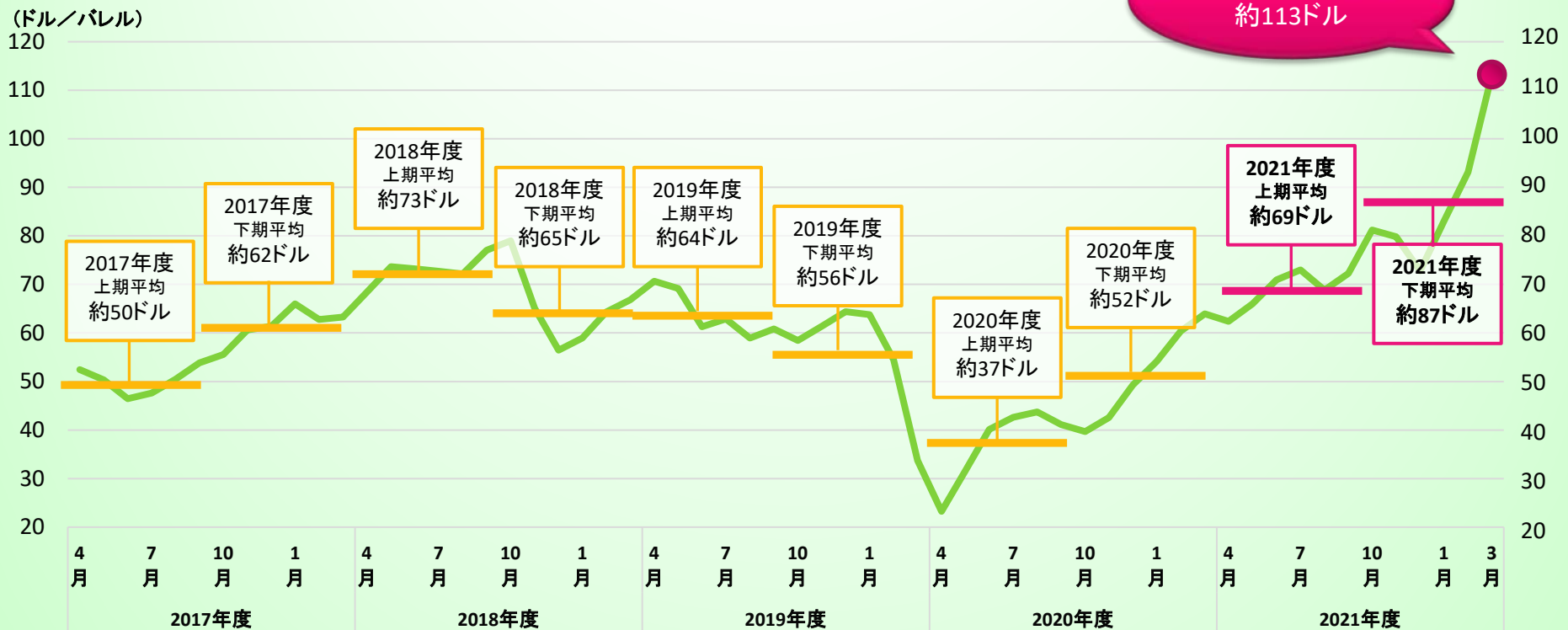
日本経済の概況

- ◆ 新型コロナウイルス感染症により、依然として厳しい状況が続くが、ワクチン接種が進む中で、各種政策の効果などもあり景気の持ち直しの動きも見られた
- ◆ 一方で、ウクライナ情勢の緊迫化に伴う円相場の下落や物価の上昇等もあり、引き続き、先行き不透明感が強い状況が継続

当社グループを取り巻く事業環境

- ◆ 防災・減災、国土強靱化対策など建設需要の高まり等、公共投資は高水準で堅調に推移
- ◆ 脱炭素社会の到来に伴い、環境に配慮した舗装へのニーズが増加
- ◆ 原油価格高騰等の業績下押し要因もあり

参考:ドバイ原油価格



2022年3月期の主な取り組み



【新しい時代のニーズへの積極的な対応】

- ◆ 防災・減災、国土強靱化対策を始めとする工事への積極的取り組み
- ◆ 「長寿命・高性能化」や「環境負荷低減」等、高付加価値製品・工法の販売拡大
- ◆ スマートフォンでより簡単に道路点検ができる「GLOCAL-EYEZ」の提供開始
- ◆ 原材料価格上昇への対応

【高度な技術に基づく領域拡大】

- ◆ 北陸新幹線スラブ軌道工事
- ◆ 歩道橋・公園等の舗装補修

【経営基盤の強化】

- ◆ プライム市場への移行に伴う経営基盤の強化
- ◆ IR情報や企業活動の積極的な開示

2022年3月期 決算概要

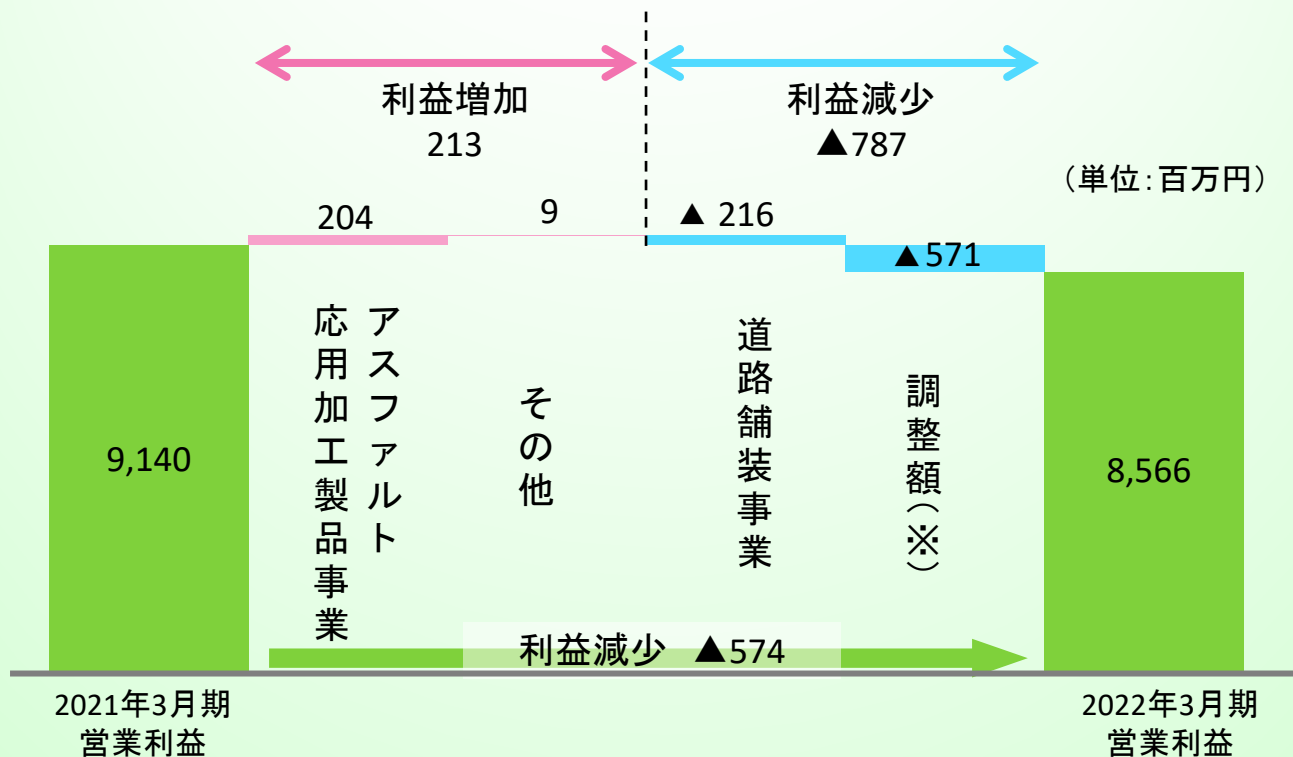


(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 実績	対前期 増減	対前期 増減率
売上高	71,471	78,001	(※) 6,530	(※) 9.1%
売上総利益	18,436	18,320	▲ 115	▲ 0.6%
販売費及び一般管理費	9,296	9,754	458	4.9%
営業利益	9,140	8,566	▲ 574	▲ 6.3%
経常利益	9,574	9,311	▲ 263	▲ 2.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,357	6,811	454	7.1%

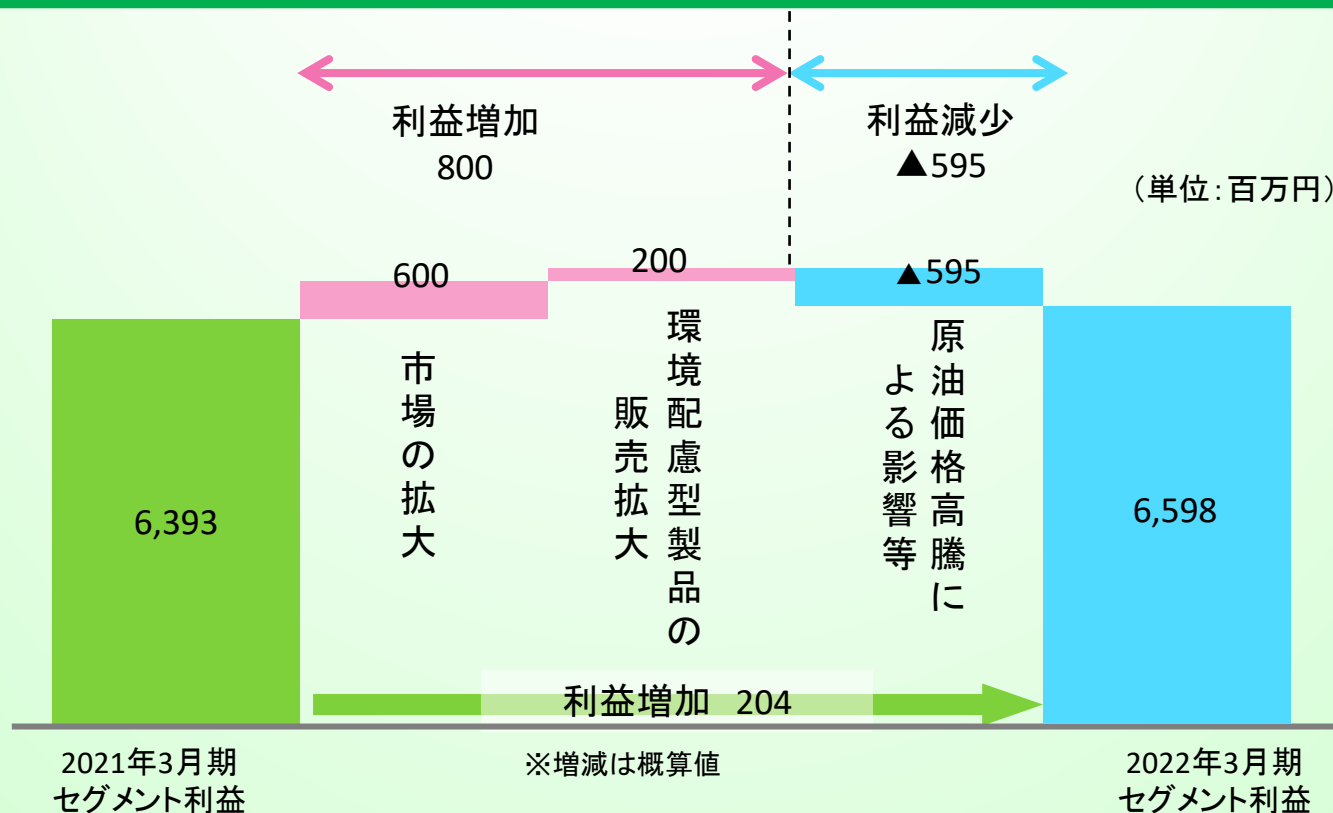
※売上高の対前期増減に関しましては、当期首より適用の「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等による影響を勘案しておりません。

営業利益の増減要因分析



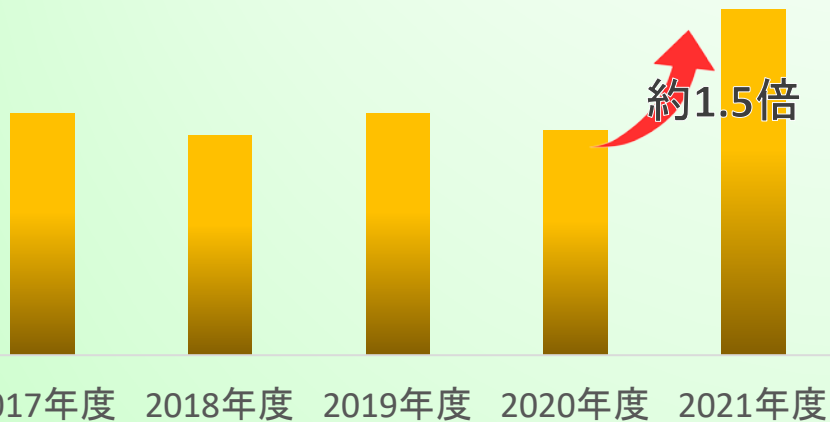
※調整額、セグメント間取引消去および、各セグメントに配分していない全社費用(主に本社管理部門費用)を含む

アスファルト応用加工製品事業の利益増減要因



市場拡大(スタビセメントRC工法)

国土強靱化対策への対応強化により
スタビセメントRC工法の施工量が急速に増加



市場拡大(北陸新幹線)

高度な技術に基づく領域拡大の一環として
北陸新幹線スラブ軌道CAモルタル充填工事を実施



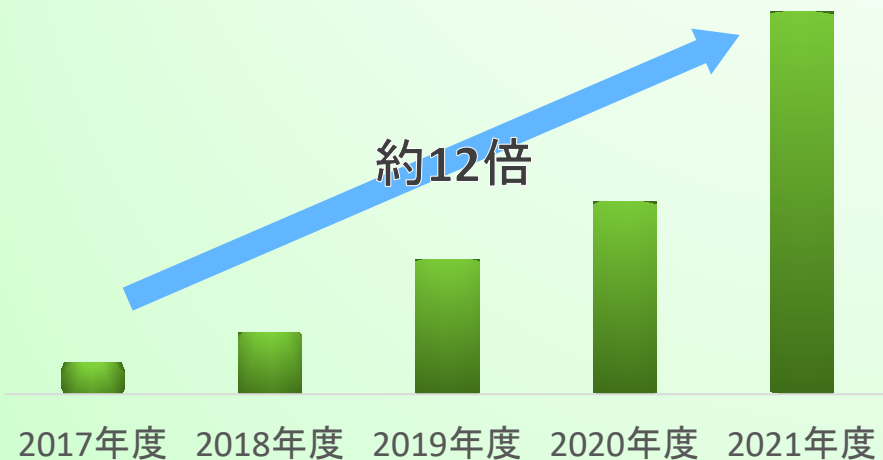
市場拡大(歩道橋)

安全性と景観への配慮を両立する歩道橋カラー舗装の補修を開始
2021年1月 「カラーファルトKT工法」 上市



環境配慮型製品（シナヤカファルト）

環境配慮型製品のニーズの高まりへの対応強化により
長寿命化製品であるシナヤカファルトの売上が大幅に増加



環境配慮型工法(アスウッド工法)

環境配慮へのニーズの高まりに対応し、環境負荷の小さい
高性能な木質舗装材を利用したアスウッド工法の推進

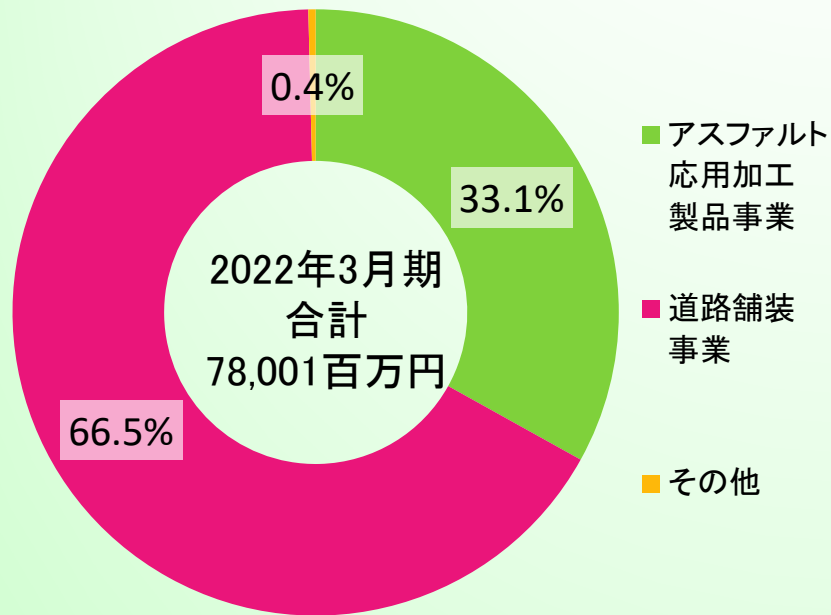


↓より耐久力が高く防草効果のある
「半炭化アスウッド工法」

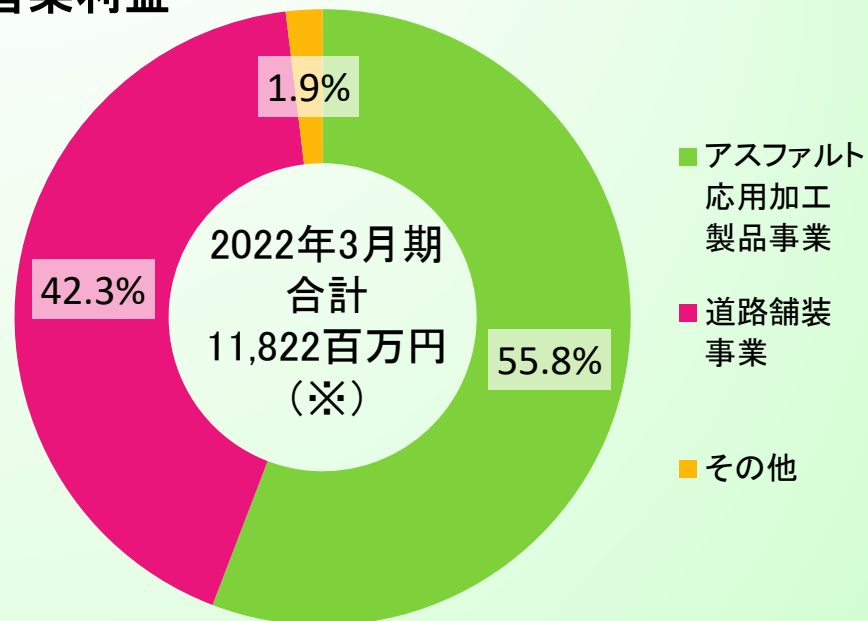


セグメント別業績比率

売上高

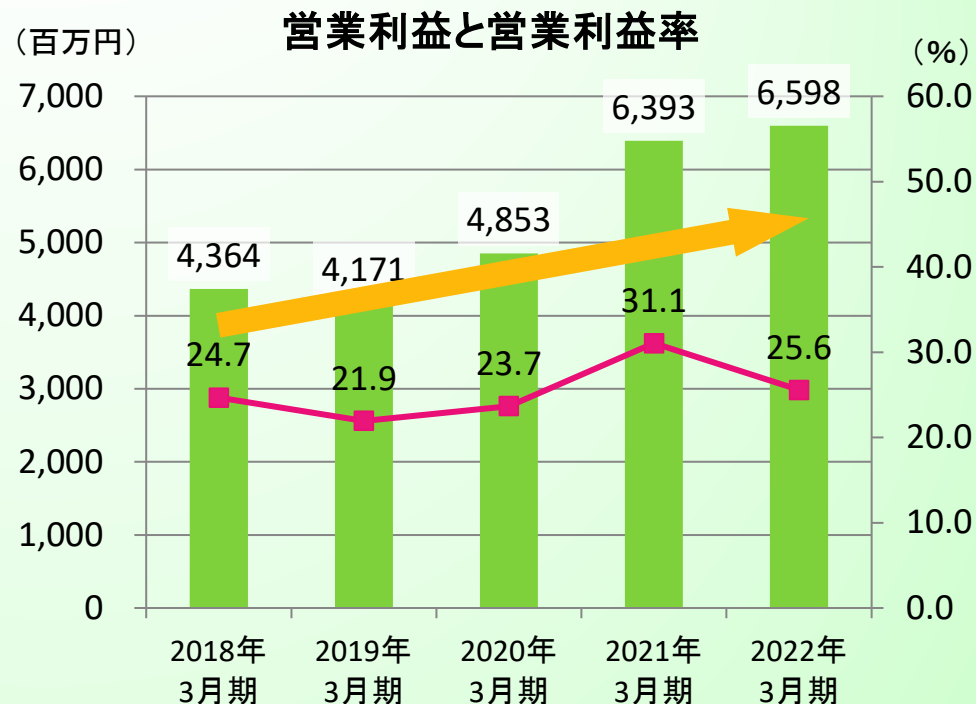
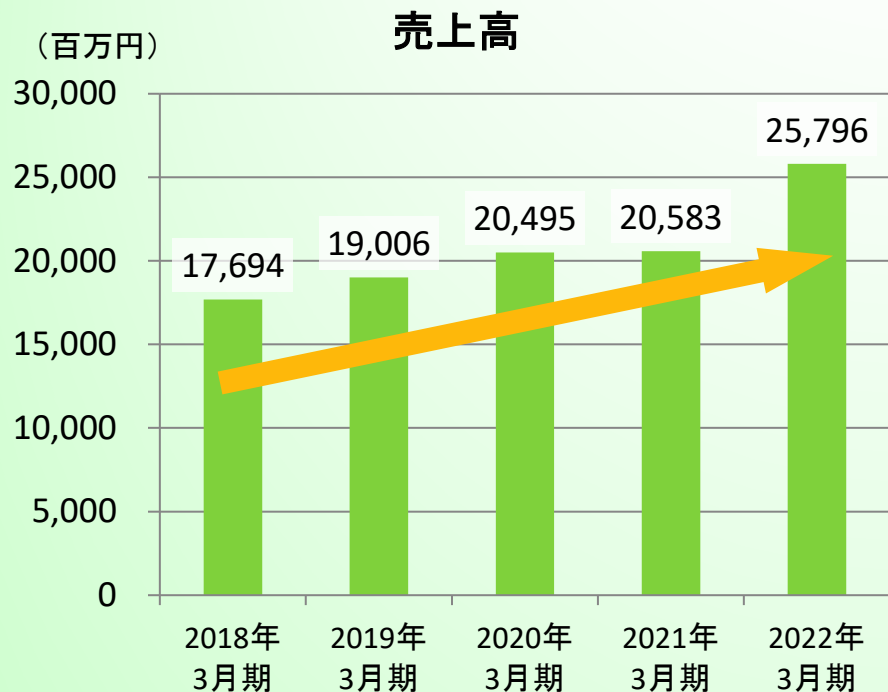


営業利益



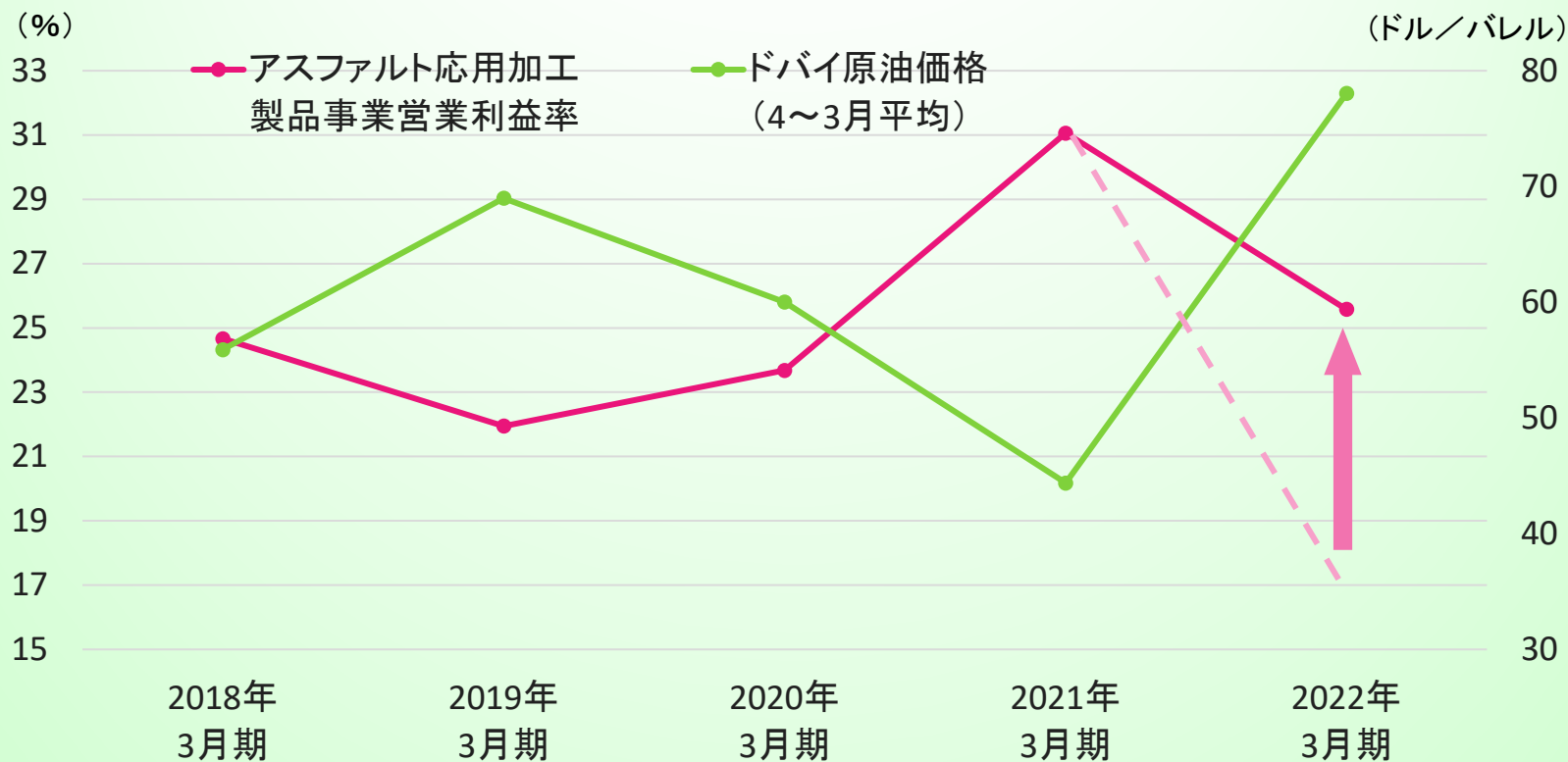
※: セグメント間取引消去および全社費用の調整額
3,256百万円を控除する前の金額

セグメント別業績推移(アスファルト応用加工製品事業)

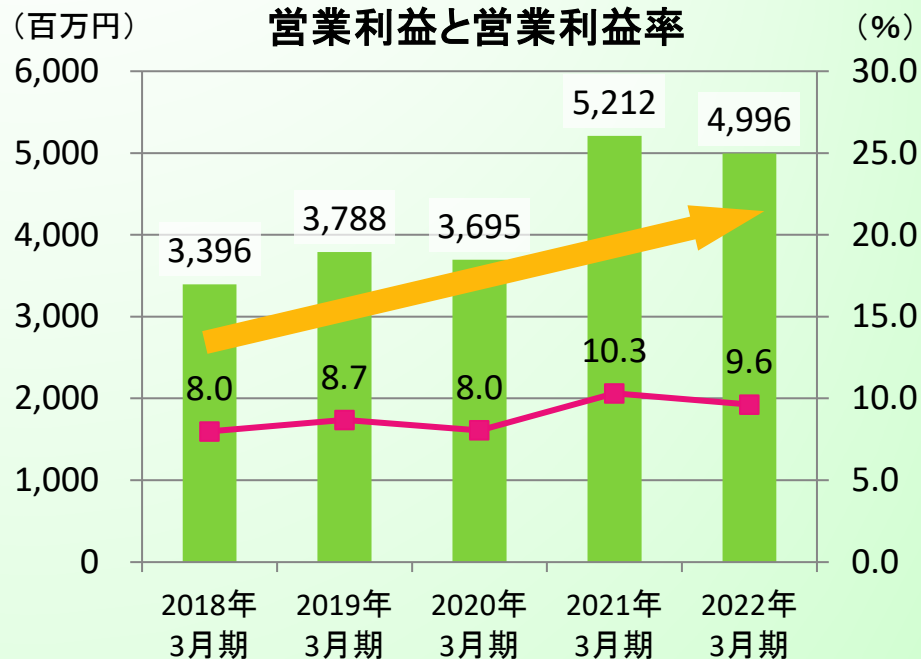
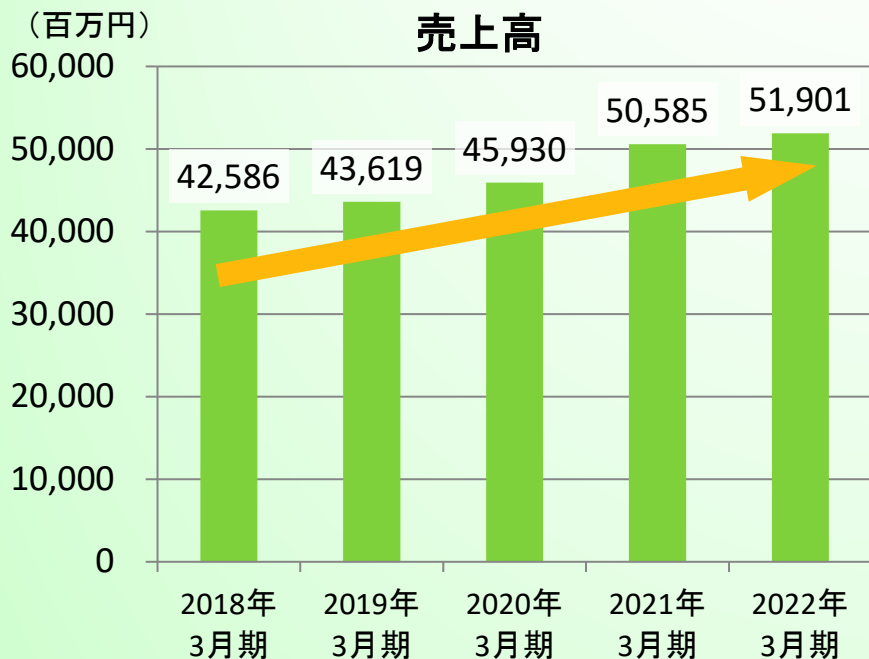


※セグメント売上高は、外部顧客への売上高のみ。セグメント利益は、セグメント間取引消去および全社費用の調整額を控除する前の金額。

営業利益率とドバイ原油価格（年度平均）の推移



セグメント別業績推移(道路舗装事業)



※セグメント利益は、セグメント間取引消去および全社費用の調整額を控除する前の金額。

ESG指標の実績と目標

環境配慮型製品・工法の 売上比率

2020年度
12.6%

2021年度
21.2%

2025年度
30%以上

新製品・工法開発 (改良含む) 上市件数

2016~2020年度累計
10件

2021年度
1件

2025年度
10件以上

年間残業時間640時間以下

2020年度
77.8%

2021年度
87.2%

2025年度
100%

有給休暇年間取得日数 付与日数の5割以上取得者割合

2020年度
52.4%

2021年度
56.4%

2025年度
100%

共同研究開発上市件数

2016~2020年度累計
2件

2021年度
1件

2025年度
2件以上

経常利益率

2020年度
13.4%

2021年度
11.9%

2025年度
11.9%

配当性向

2020年度
17.3%

2021年度
18.8%

2025年度
25%程度

決算説明会

2020年度
0回

2021年度
2回

2025年度
2回

トピックス



4月 第10次中期経営計画「しなやか2025」
(2021～2025年度)がスタート

5月 第1回新株予約権(2020年12月発行)の
行使停止、取得、消却

6月 新たに、ESG・SDGsの観点に立った
ホームページに刷新

7月 スマートフォンでより簡単に道路点検が
できる「GLOCAL-EYEZ」の提供を開始

9月 統合レポートを発行
※英語版は10月発行

10月 「ハイウェイテクノフェア2021」に出展
第16回REAAA道路会議「片平賞」の受賞

第70回日経広告賞「生産財・産業部門
最優秀賞」の受賞

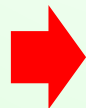
11月 第34回日本道路会議 論文賞の受賞

第2四半期 決算説明会の開催

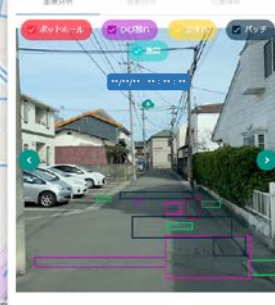
2月 個人投資家向けオンラインセミナーの開催

道路の調査～GLOCAL-EYEZ

- ◆ 東京大学・長山准教授、株式会社スマートシティ技術研究所と共同開発
- ◆ スマートフォンによるAI解析を特徴とした道路点検DXシステム



画像データアップロード
AI解析



★2021年9月1日 日経産業新聞に掲載「スマホで道路点検、分析1時間」
https://www.nichireki.co.jp/up_pdf/20210906101525_f.pdf

IR説明会

2021年11月30日 第2四半期 決算説明会

2022年 2月 1日 個人投資家向けオンラインセミナー



ニチレキ株式会社 (5011 東証PRM) 個人投資家向けIR会社説明会

【社長が語る経営戦略とIR】 ...

14:11 / 25:34 YouTube

INFO INDEX

代表取締役社長 **小幡 学**

2022年02月01日(火) 18時30分より
フィナンテック 会議室【東京】
WEB開催

[対談&QAパートへ >>](#)

アスファルト乳剤～アスウッド舗装



Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved. 15

[配布資料](#)

[ニュースリリース一覧へ](#)

Copyright (C) 2000 - 2022 Finantec Co., Ltd. All Rights Reserved.
利用規約 | 動作確認環境 Windows 10 Microsoft Edge

STREET

広告賞受賞

◆第70回 日経広告賞 「生産財・産業部門 最優秀賞」受賞

「なくてはならないインフラだからこそ、なくてはならない環境対策がある」というフレーズで、当社の技術開発の姿勢を表現

◆2022年5月 第43回2022日本BtoB広告賞 最優秀賞 「経済産業大臣賞」受賞

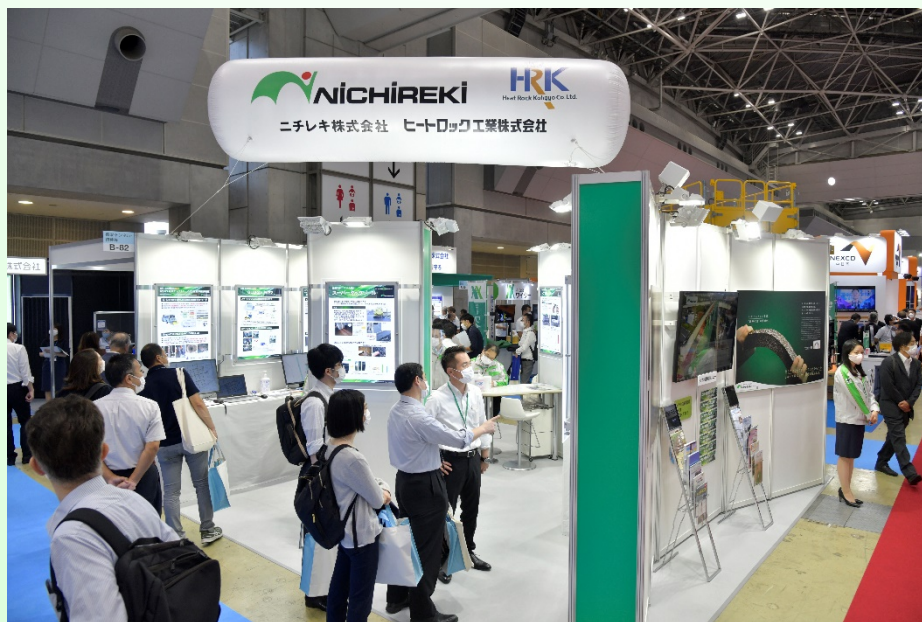


ハイウェイテクノフェア2021



2021年10月6日～7日

グループ会社の「ヒートロック工業」との共同出展



技術論文賞 受賞

第16回REAAA道路会議 「片平賞」

受賞論文
「間隙水圧負荷によるアスファルト舗装の
層間接着性を評価する新しい試験方法の実験的開発」



第34回日本道路会議 論文賞

- ①舗装部門 事例論文賞 受賞論文
「都道における小規模舗装への常温混合物の適用事例」
- ②舗装部門 事例奨励賞 受賞論文
「重交通橋面舗装の流動対策に用いた
特殊改質アスファルト混合物の適用事例」



Ⅲ. 2023年3月期 業績予想

業績予想の背景

プラス要因

- ◆防災・減災、国土強靱化対策など建設需要の高まり
- ◆環境配慮型製品・工法のニーズの高まり

マイナス要因

- ◆ウクライナ情勢等に起因する原油価格及び原材料価格高騰の影響
- ◆企業間の熾烈な受注競争

「つくばビッグシップ」プロジェクトの延期

- ◆ 本中期経営計画期間に建設を予定していた、茨城県つくばみらい市における生産・物流基地に関し、ウクライナ危機の影響による鋼材等建設資材の価格急騰に加え、製造設備に係る半導体不足問題や資材の調達難から納期の大幅な遅れが避けられず、着工を延期。



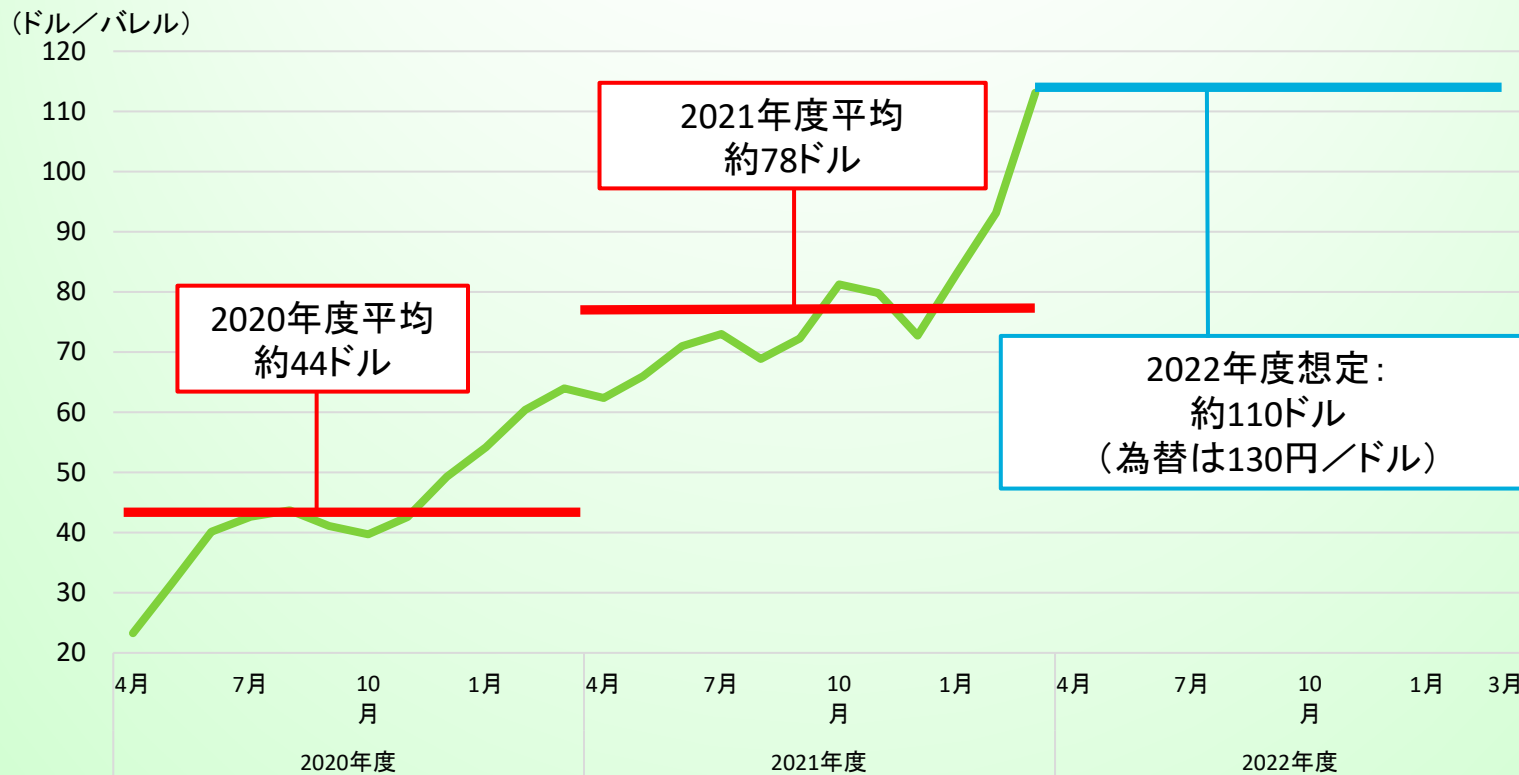
2023年3月期 業績予想



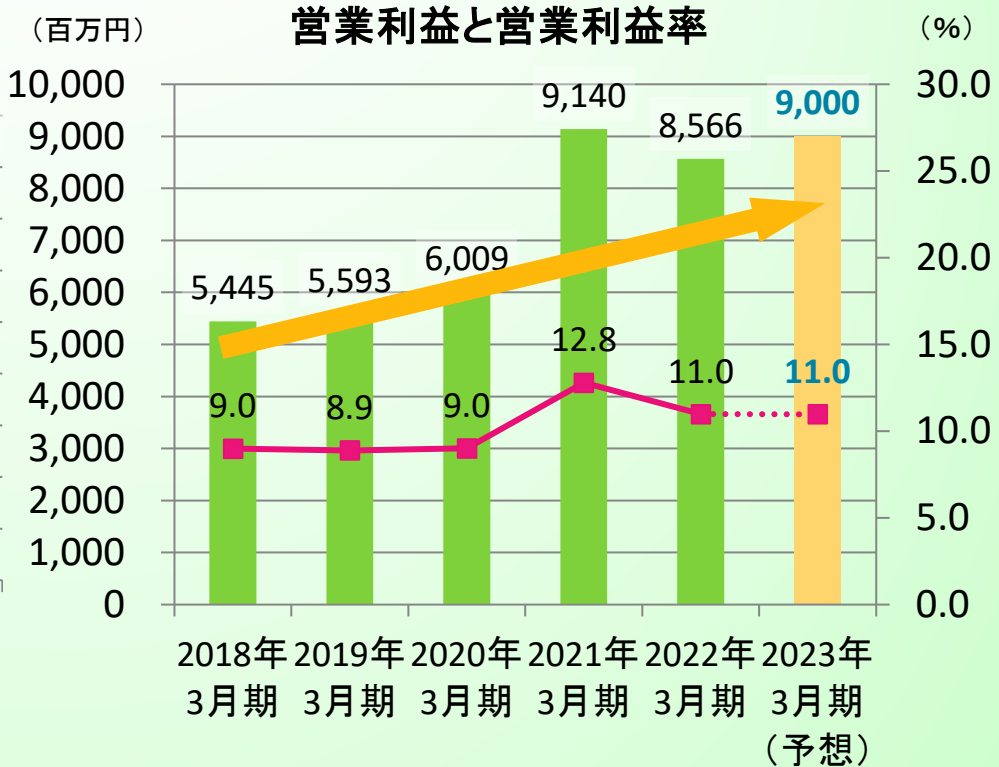
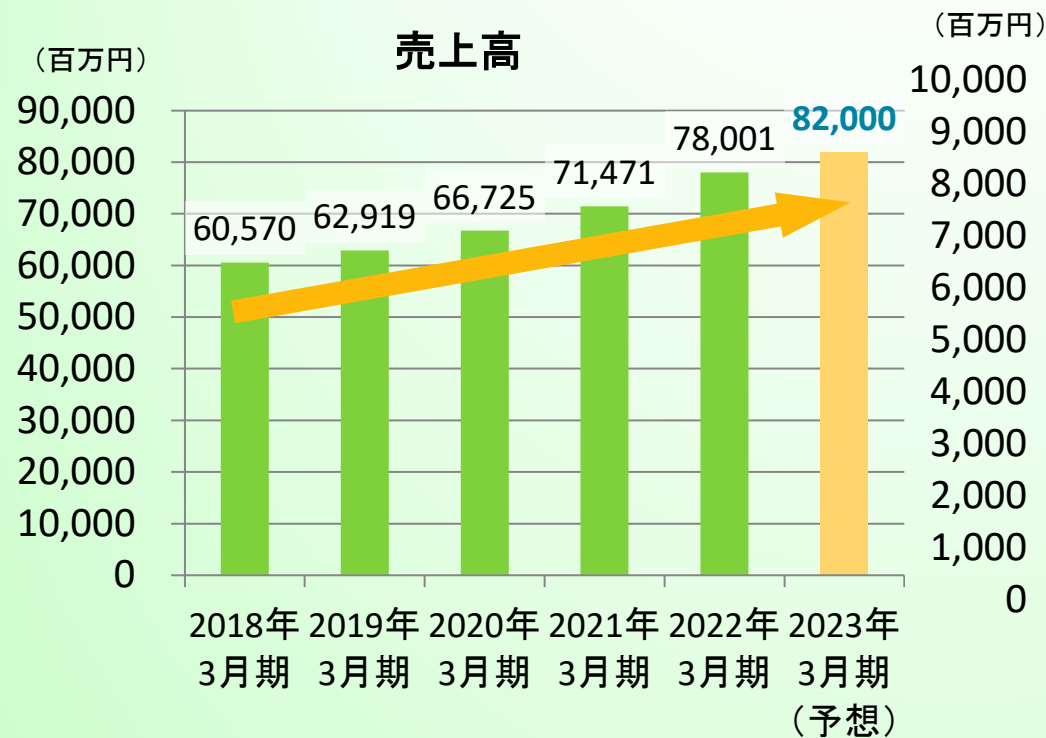
(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 (予想)	対前年増減	対前期 増減率
売上高	78,001	82,000	3,998	5.1%
営業利益	8,566	9,000	433	5.1%
経常利益	9,311	9,300	▲ 11	▲0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,811	6,000	▲ 811	▲11.9%

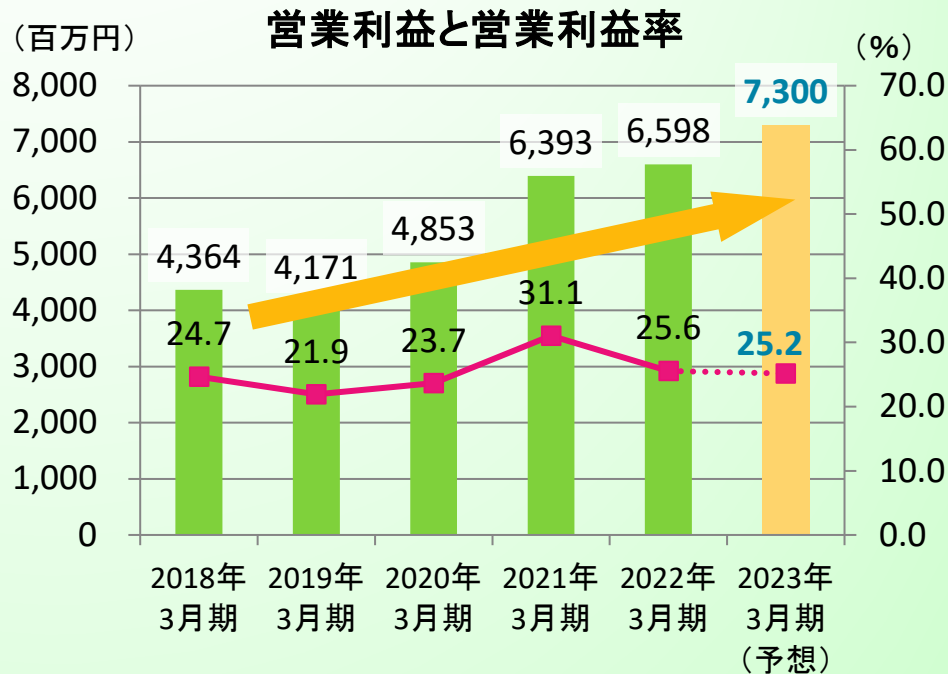
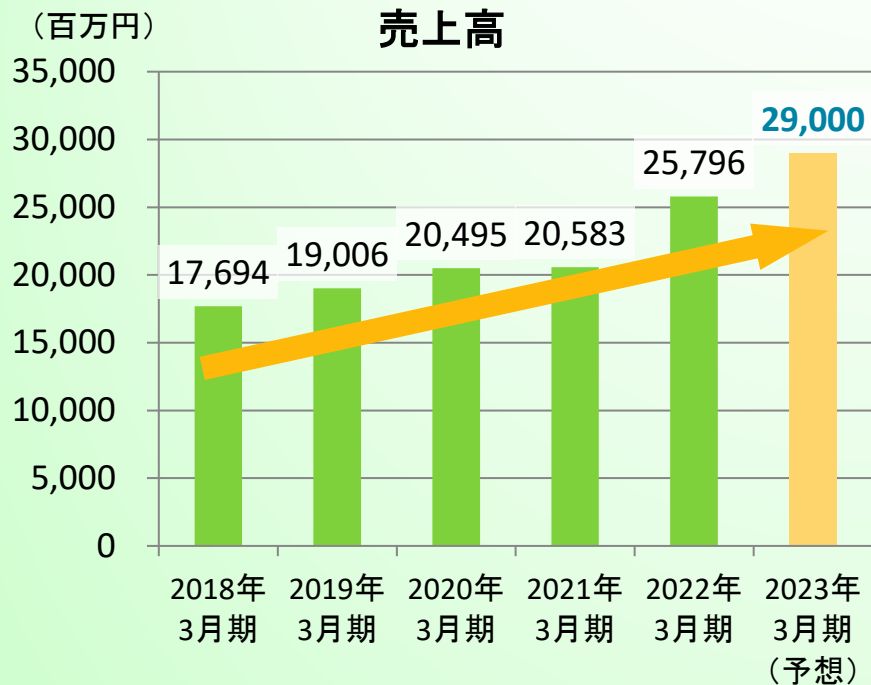
参考:ドバイ原油価格の想定



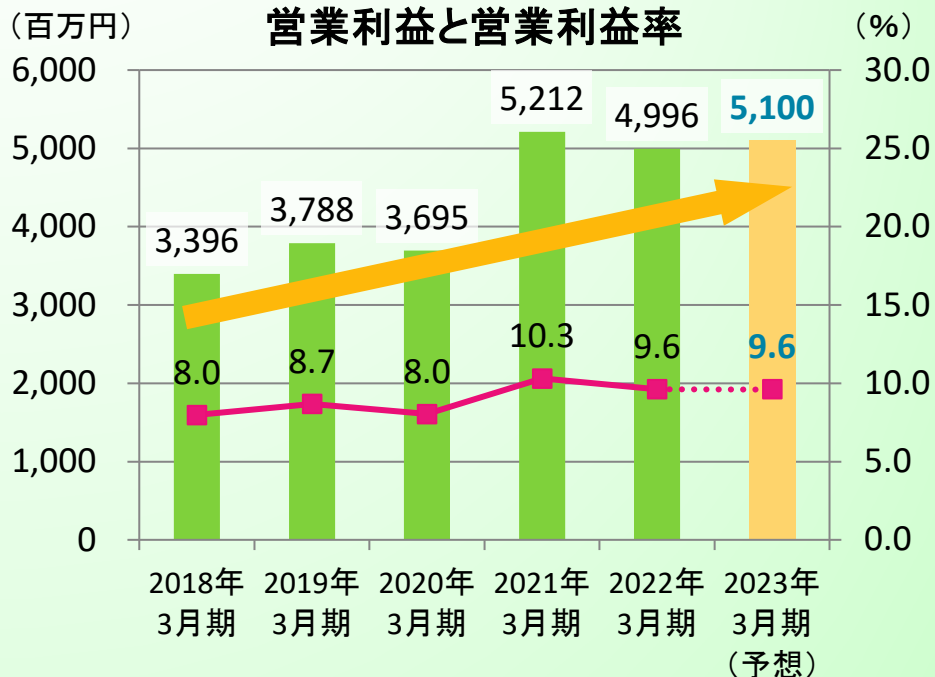
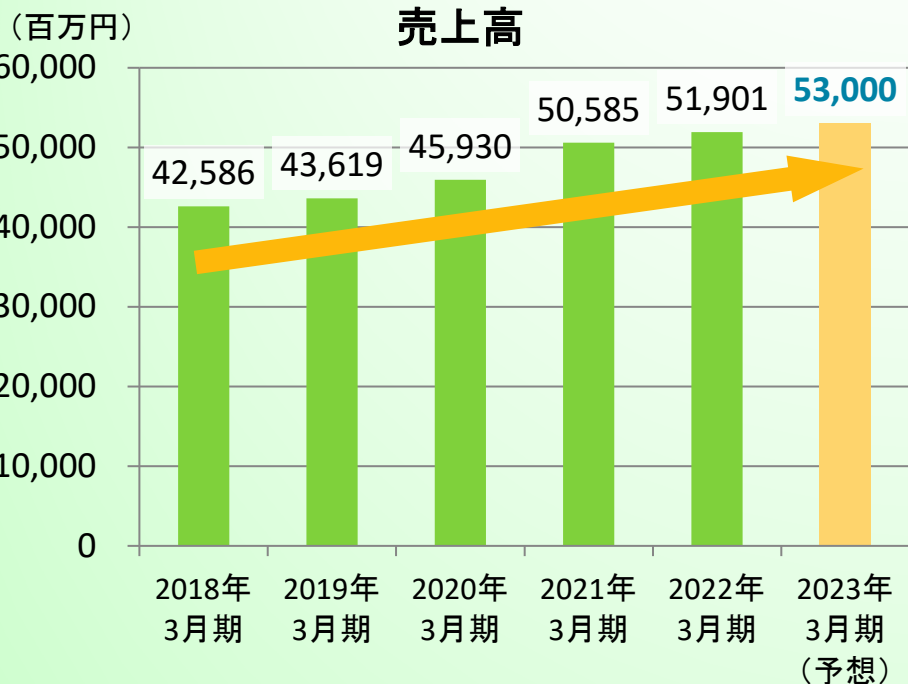
通期業績予想(推移)



セグメント別業績予想(アスファルト応用加工製品事業)

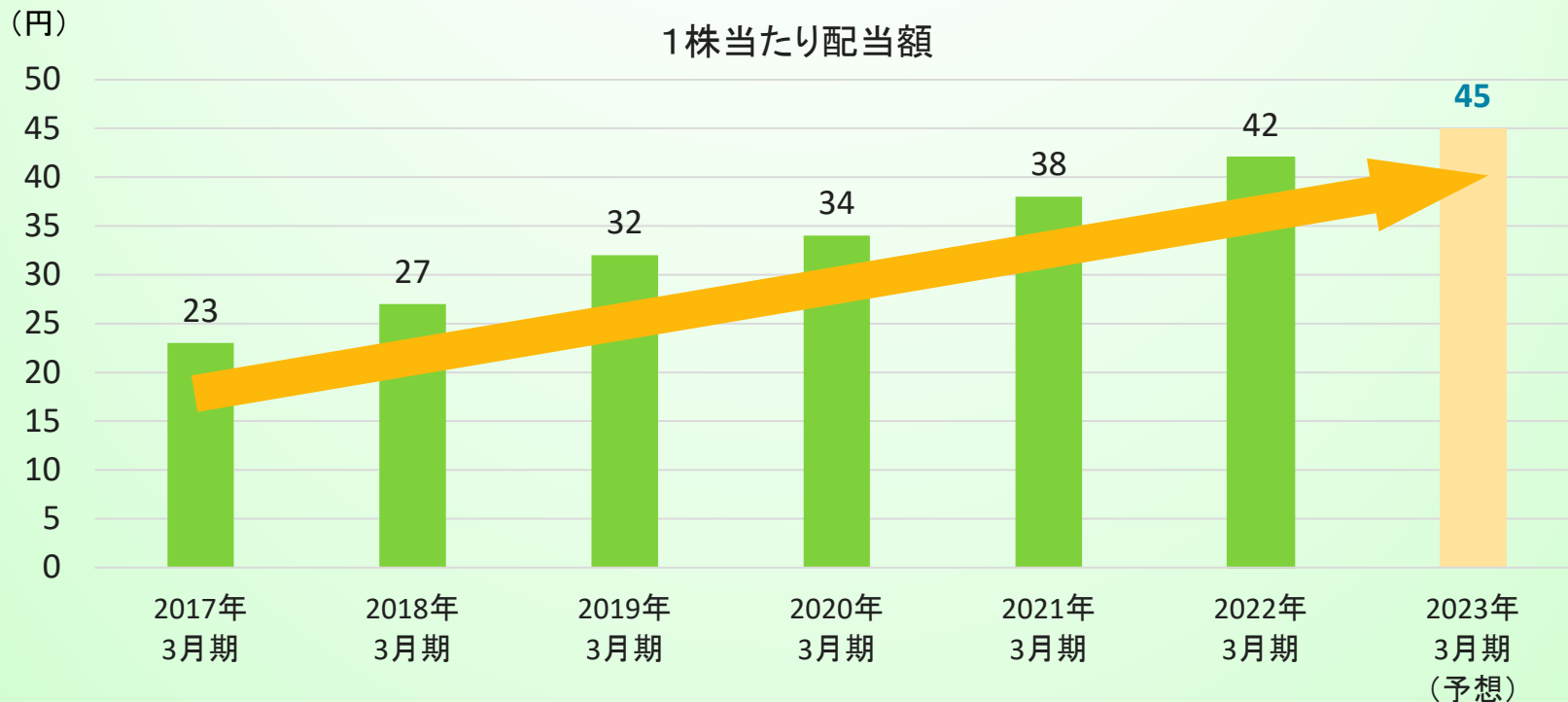


セグメント別業績予想(道路舗装事業)



配当予想

◆安定配当を基本とし、業績向上による増配に向けても努力を継続



中期経営計画 経営数値目標の修正



- ◆ 市場の拡大と高付加価値製品・工法の提供等により、売上高・利益ともに、当初の数値目標を上回ることが予想されること、また「つくばビッグシップ」プロジェクトの延期等も勘案し、中期経営計画の経営数値目標を以下の通り修正。

	2025年度	
	修正前	修正後
連結売上高	77,000百万円	86,000百万円
連結営業利益	7,800百万円	10,000百万円
連結経常利益	8,000百万円	10,200百万円
ROIC(投下資本利益率)	6.5以上	8.0以上
ROA(総資産当期純利益率)	5.0以上	6.0以上

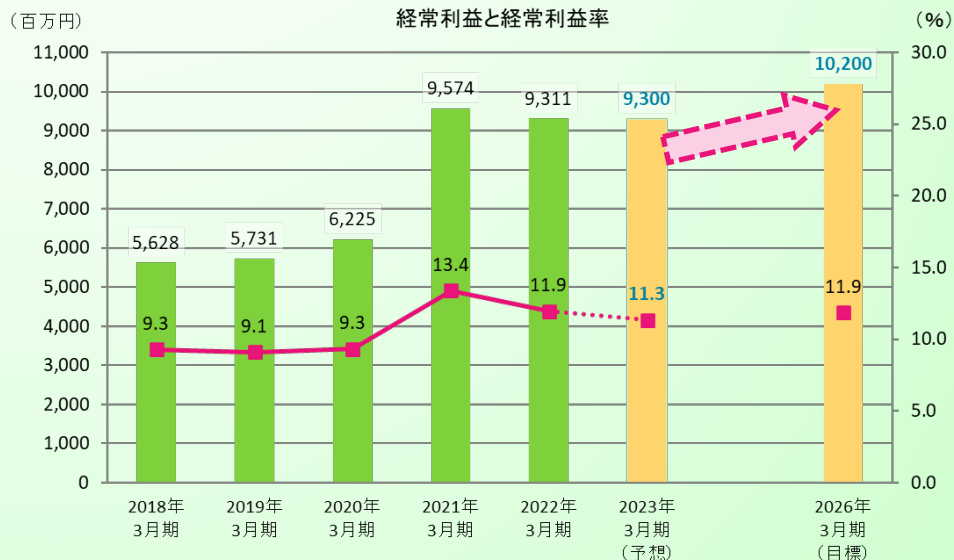
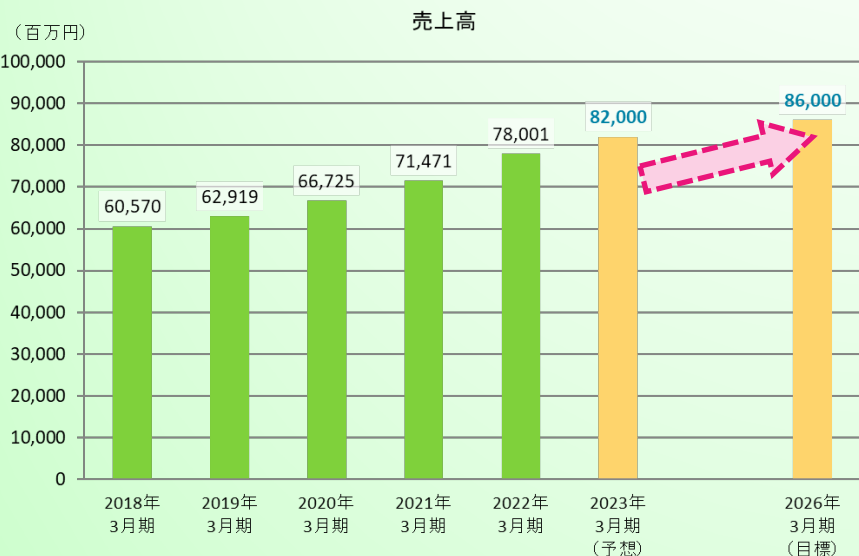
※2022年5月10日適時開示

経営成績目標



防災・減災、国土強靱化対策等の建設需要高まりを背景とした、高水準の公共投資が継続される見通し。原油価格高止まりが予想されるが、市場拡大と高付加価値製品・工法の提供により、目標売上高・利益の達成を見込む。

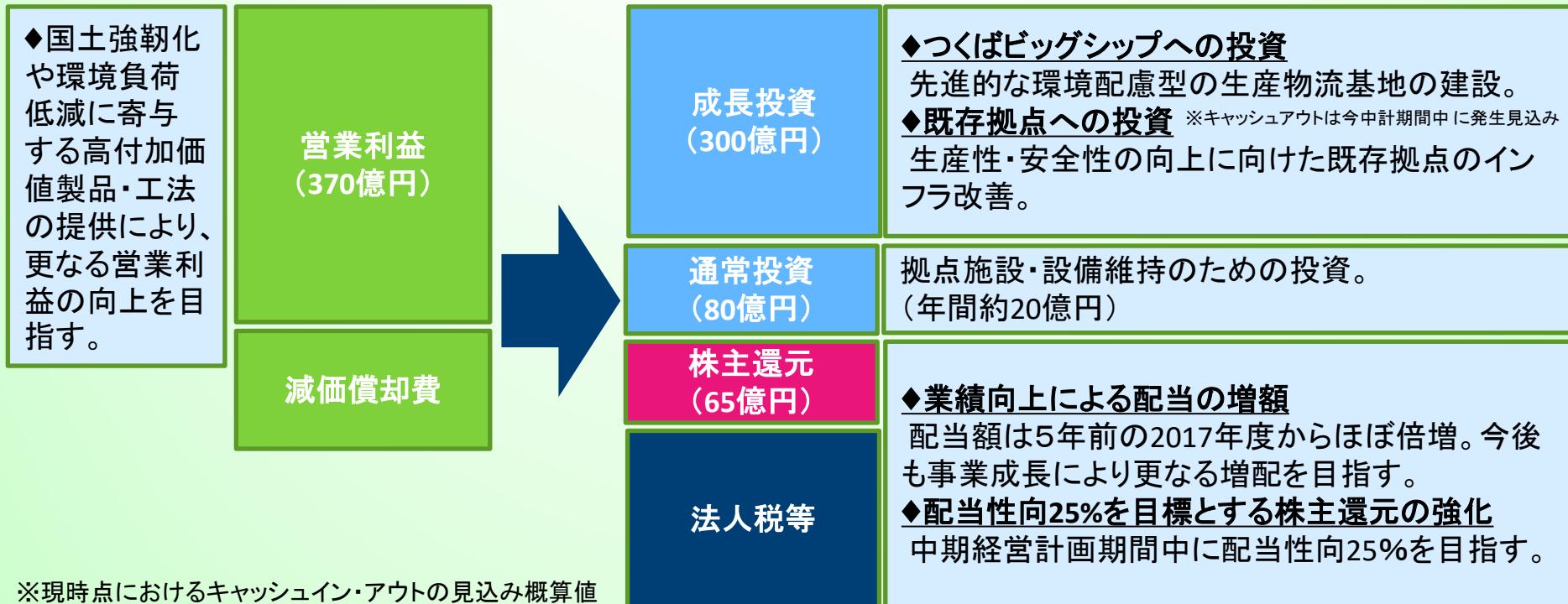
※「つくばビッグシップ」の開発については、鋼材価格高騰・資材調達難からの納期の大幅な遅れにより、着工延期を決定。修正後の数値目標に当該建設に係る減価償却負担は織り込まず。



財務方針－キャッシュアロケーション(2022年度～2025年度)



事業成長から創出されるキャッシュフローを活用し、次世代に向けた成長投資を行うとともにより手厚い株主還元を実施。



※現時点におけるキャッシュイン・アウトの見込み概算値

◆ ご注意事項

本資料に含まれる業績予想等の将来予測に関する記述は、資料作成時点における入手可能情報および、当社の判断・仮定に基づくものです。今後の経済状況および事業環境の変化等により、実際の業績は現時点の予測から乖離する可能性があります。

◆ お問い合わせ先

ニチレキ株式会社 広報部 IR担当

TEL: 03-3265-1513 (8:30～17:30、土日・祝日を除く)

HP : <https://www.nichireki.co.jp/inquiry/>